

島スクエア起業家講座

受講者を募集

■放棄地を整備してハチミツづくり&わかりやすい起業のおはなし

耕作放棄地を整備して花木を育て、ハチミツづくりを通して、循環型の6次産業化を目指す取組です。併せて、どのように起業していくか身近な事例を通して見ていきます。

◇会場 田布施町中央公民館
(田布施町大字下田布施
3430・1)

◇日時 9月10日(木)

午後1時30分～午後4時

※柳井市、平生町、上関町、周防大島町でも実践講座を実施しています。詳細は町ホームページに掲載しています。

■受講料 無料

■定員 各講座20人

■申込方法

講座の5日前までに連絡する

■申込み・問合せ先 大島商船

高等専門学校総務課企画係

〒742・2193

周防大島町小松1091・1

☎0820・74・5457

FAX0820・74・5552

E-mail kikaku@oshima-kac.jp

中古メガネの回収事業にご協力ありがとうございました

中古メガネ回収事業へのご協力をありがとうございました。

町民の皆さんのご協力のもと、150個ものメガネを集めることができました。

集められたメガネは、仙台市にあるライオンズクラブ眼鏡リサイクルセンターにて修理された後、メガネの不足している発展途上国へと送られます。子どもから大人まで、必要としている人に有効に使っていただきたいと願っています。

令和2年度も中古メガネ回収事業を継続して取り組んでいきたいと考えています。ご協力をお願いします。

これからも田布施ライオンズクラブは社会奉仕活動に積極的に取り組んで参ります。

◇回収箱設置場所

役場、図書館、各公民館、セブンイレブン田布施砂田店

◇問合せ先

田布施ライオンズクラブ事務局

☎52-3200 (FAX 兼務)



私たちと人権シリーズ No.137

心の奥底に潜む『文化』

山口県男女共同参画
相談センター

所長 山根由紀

こんにちは、男女共同参画相談センターです。突然ですが、次の言葉のうち『違和感』があるものはどれでしょうか？

①『主人・奥さん』

②『女子高生・女流作家』

③『カメラマン・行政マン』

昭和60年に男女雇用機会均等法が施行されたとき、私はすでに公務員として働いていました。

当時女性職員は、朝30分早く出勤してお茶の準備、夕方はゴミ出しとお掃除をするものと決まっています、そのことに『違和感』を持つ者はいませんでした。

あるとき、男性職員も掃除をすることはどうかと提案したところ、『掃除は女性のつとめですから』と、先輩女性からあっさり却下されました。

もちろん現在は、『お茶はセルフ、掃除は全員』が当たり前

です。今の時代に育つ子どもたちも『性別による固定的役割分担意識』から徐々に解放されてきた、そう思いたいものです。さて、冒頭にご紹介した言葉に戻りましょう。普段何気なく使っている言葉や表現ですが、男性を中心としてきた社会構造や男女の役割分担意識が反映されているものは、実は数多く残っています。

私たちの心の奥底にある『文化』とも言えるこの役割分担意識は、そう簡単に消し去れるものではありません。私は、性別を強調する表現や女性と男性の対話のない言葉を使わないよう意識することで、公平な感覚を保つよう心がけています。

コロナ禍により家族で過ごす時間が増えた家庭もありました。家の中で『違和感なく』一番忙しかった人は誰でしょうか。その姿を子どもたちが見ています。

性別に関わりなく、誰もが互いに尊重し合える社会のために、私たち自身の行動を変えていく努力が、もう少し必要です。